

茨城県と県内の梨生産者が“1万果に1果の「恵水」”の栽培に挑戦した
『幻の恵水プロジェクト』の成果報告会を実施しました
**無事に収穫された『幻の恵水』を
プロジェクト応援団長の二所ノ関親方へ贈呈**
『幻の恵水』は京橋千疋屋にて1玉10,800円（税込）で販売

茨城県と茨城県梨組合連合会（草間勝美会長）は、茨城県オリジナル品種の梨「恵水」のトップブランド化を目指すべく、今春より実施してまいりました『幻の恵水プロジェクト』につきまして、今秋、無事に『幻の恵水』を収穫できたことを報告するため、本日10月3日に二所ノ関部屋（茨城県稲敷郡阿見町）を訪問、同プロジェクトの応援団長である茨城県出身の二所ノ関親方（元横綱 稀勢の里）に収穫を報告するとともに、『幻の恵水』を贈呈しました。



収穫した『幻の恵水』を贈呈される二所ノ関親方



「恵水ジュース」で乾杯する二所ノ関親方

当日の広報写真や動画をご希望されます報道関係の方は、次ページの茨城県広報事務局までお申し付けください。
映像・音声を使用される場合は、お手数ではございますが各社において日本相撲協会広報部へ申請をお願いします。

当日は、『幻の恵水プロジェクト』に挑戦した梨生産者を代表して草間勝美会長から、同プロジェクトの応援団長を務めていただいた二所ノ関親方に『幻の恵水プロジェクト』の成果を報告するとともに、『幻の恵水』の贈呈を行いました。草間さんは「親方に届けなきゃいけないと思い、プレッシャーも大きかったですが、頑張りました。生産者一同の想いをうけて立派に育ってくれて、ほっとしました」とのコメントとともに『幻の恵水』を贈呈、あわせて栽培の苦労や裏話なども親方に報告しました。報告を受けた親方は、贈呈された『幻の恵水』の大きさに驚き、「この大きさはまさに“横綱級”の梨ですね。食べるのが楽しみです」とコメント。特別に用意された恵水を贅沢に絞った梨ジュースで『幻の恵水』の収穫の祝杯をあげ、来年以降の収穫を祈願しました。

今年栽培に挑戦した『幻の恵水』は、重さ1kg以上、糖度14度以上で外観が優れる「恵水」であり、1万果に1果程度しか収穫できないと言われるほどの希少性の高さから、『幻の恵水』と言われています。今シーズン、『幻の恵水』は1玉10,800円（税込）で京橋千疋屋の店頭で5玉並び、話題となっております。

■『幻の恵水プロジェクト』とは

茨城県のオリジナル品種の梨「恵水」のトップブランド化を目指し、1万果に1果と言われるほど希少な『幻の恵水』（重さ1kg以上、糖度14度以上、外観が優れるもの）の栽培に県と県内の産地が一体となって挑戦するプロジェクトとして、令和4年度春より実施。同プロジェクトの応援団長には茨城県出身の二所ノ関親方（元横綱 稀勢の里）が就任。



■「京橋千疋屋」で販売について

高級果実専門店「京橋千疋屋」にて『幻の恵水』をはじめ、茨城県産「恵水」が販売されています。

『幻の恵水』・・・重さ1kg以上、糖度14度以上、外観が優れるもの

10,800円/玉（税込）

※9月12日（月）から、京橋千疋屋大丸東京でのみ数量限定で販売（無くなり次第終了）

「特選恵水」・・・重さ500g以上、糖度13度以上

2,160円/玉（10玉サイズ）

2,592円/玉（8玉サイズ）



▲幻の恵水



▲特選恵水

本件に関する報道関係者の方々からのお問合せ先
茨城県 営業戦略部 販売流通課 企画広報G 担当：中島、阿部
TEL：029-301-3945 FAX：029-301-3969
E-mail：hanryu4@pref.ibaraki.lg.jp

茨城県広報事務局 担当：東山
TEL：070-3266-6497 E-mail：ibaraki-pr@frontier-i.co.jp